

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和 2 年 6 月 15 日(月) 16 時 00 分～16 時 40 分
場 所	知事会議室
出 席 者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、教育長、知事室長 総合政策部長、保健福祉部長、教育部長、保健福祉部次長、経済部次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、6 月以降の段階的緩和のステップ 2 への移行など について協議した。
発 言 者 及び主な 発言内容	<p>〔冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 6 月 18 日までに新規感染者数、リンクなし感染者数、入院患者数が現在の水準を大きく超えるなど、感染拡大の兆しがみられない限り、段階的緩和のステップ 2 に移行することとなる。 ● 移行に当たっては、国の動向を見つつ、直近の感染状況を踏まえる必要があることから、6 月 18 日に本部会議を開催して最終的な判断を行うこととしたい。 ● ステップ 2 に移行すると、イベントの開催制限を除き、ほぼすべての制限が緩和となる。ステップ移行後は、感染拡大防止の取組をより一層徹底していくことが重要であり、そのためには、札幌市及び市町村から協力をいただくことが必要。(以上、保福) ● 札幌市、市長会長、町村会長との 4 者による web 会議の開催を検討している。(総政) ● 緩和が進むと人の流動化も進むことから、公共交通機関に対しても、この機会に改めて北海道スタイルの徹底への協力依頼を行うとともに、国に対しても、今後を見据えた効果的な水際対策について要請してはどうかと考えている。(保福) ● 7 月以降は、観光・消費活動を段階的に促進することとしている。「振興局管内」の需要を喚起するスタンプラリーをはじめ、「道内」の観光消費を促進するどうみん割、「道産品」の消費促進として百貨店等での企画販売の実施を行うなど、段階的に経済活動を拡大していく。そのためにも、北海道スタイルの徹底が重要となる。(経済) ○ 医療提供体制の負荷の状況等が重要となるので、しっかりとフォローしておくこと。 <p style="text-align: right;">(以上)</p>

※ (知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和 2 年 6 月 17 日(水) 17 時 20 分～18 時 00 分
場 所	知事会議室
出 席 者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、教育長、知事室長、 総合政策部長、保健福祉部長、観光振興監、保健福祉部次長、経済部次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、段階的緩和のステップ 2 への移行などについて協議した。
発 言 者 及び主な 発言内容	<p>〔冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 国では、明日 18 日に段階的緩和のステップ 2 への移行について、対策本部を開催して判断する予定。これまでの西村大臣の発言を踏まえると、予定どおりステップ 2 への移行という判断を行うことになるのではないか。 ● 他都府県との往来は全国で一括して国で判断されるものであり、現在の全国的な感染状況を踏まえると、緩和がなされるものと考えている。道としては札幌と他地域との往来について独自の判断が必要となるが、このままの感染状況で抑えられれば、制限を緩和することができる。（以上、保福） ○ 制限を緩和する際は、緩和後も引き続き、新北海道スタイルの実践の重要性について、丁寧に説明することが必要。 ● 7 月 1 日から始める「どうみん割」については、新北海道スタイルを実践している施設が対象。感染が拡大したら販売を止めることもある。（観光） ○ どうみん割の販売中止といった事態にならないよう、感染拡大防止に向けて、道民に力を貸してほしいというメッセージを伝えたい。どうみん割の動きについては、特に札幌市と情報共有を図っていくことが必要。 ● 明日の夕方に、札幌市、市長会、町村会との web 会議を開催。その後、国の対策本部の議論を踏まえて、道の本部会議を開催したい。その場合、記者会見は本部会議の後、できるだけ速やかに開催するという段取りで準備を進めたい。（総政） <p style="text-align: right;">(以上)</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和 2 年 6 月 18 日(木) 11 時 00 分～12 時 00 分
場 所	知事会議室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、教育長、総合政策部長、保健福祉部長、経済部長、観光振興監、保健福祉部次長、経済部次長、ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、段階的緩和のステップ 2 への移行などについて協議し、本部会議に諮ることとした。
発言者及び主な発言内容	<p>〔冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本日、国の対策本部が開催され、他府県との往来の制限解除など、段階的緩和のステップ 2 への移行の方針が決定される見込み。 ● 道としても、国の方針を踏まえつつ、6 月 1 日以降、大幅な感染拡大の兆候は見られないことから、予定どおり本日でステップ 1 を終了し、明日 6 月 19 日からステップ 2 に移行することについて、本日の本部会議で決定したい。 ● 外出自粛については、国の方針や道内の感染状況を踏まえ、制限を解除する。一方で、他の地域において夜の会食などの機会に感染する事例が確認されており、引き続き、道民一人ひとりの意識が重要。 ● 接待を伴う飲食店、ライブハウス等については、業種別のガイドラインも策定されたので、これまでの国の方針に沿って、ガイドラインの徹底をお願いすることとしたい。 ● イベントについても、国の方針を踏まえて緩和する。(以上、保福) ○ イベントは、これまでと比べると 10 倍の人数となり、大きな緩和となる。北海道コロナ通知システムの活用などにしっかり取り組んでもらいたい。準備ができたところから慎重に対応するようにしてほしい。 ○ 新型コロナウイルスはゼロになるわけではないので、常に見えない感染を念頭に置いた対応が必要であり、そのためにも新北海道スタイルの徹底などにより、感染拡大防止と社会経済活動の両立を図っていかねばならない。 ● 新北海道スタイルの浸透を図っていくためにも、できるだけ取組の見える化をしたい。その観点から、まず、コロナ通知システムの導入状況、昼カラの感染事例を踏まえたカラオケ設置施設に対する働きかけ、支援金の給付状況に加えて、企業の対策の取組状況などの情報発信が必要(経済) ○ 取組の可視化は重要であり、会見でできるだけ分かりやすく説明したい。 ● 感染拡大の防止に向けては、早期に抑え込むことが重要となる。振興局単位による「呼びかけ」においては、首長の皆さんの協力が不可欠。胆振で実施しているので、本部会議で説明してもらい、振興局全体で情報共有することとしたい。(総政) ○ 今後、道全体ではなく、それぞれの地域で、注意喚起が行われ、地域ぐるみで対策に取り組む機運づくりが重要。特に、石狩管内が重要であるので、本部会議で石狩振興局長に対して呼びかけの検討について指示することとする。

- 「どうみん割」の特設サイトの開設日時が決まった。(観光)
- 感染が再拡大し、移動制限等の措置を講じた場合には、どうみん割を休止しなければならない事態も考えられる。今後、域内における人やモノの流動化が進むことから、そうした事態にならないよう、新北海道スタイルのより一層の実践、徹底を図っていくことが重要である旨のメッセージを併せてお伝えする。

(以上)

※(知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和 2 年 7 月 7 日(火) 11 時 00 分～12 時 00 分
場 所	知事会議室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、知事室長、総合政策部長、保健福祉部長、教育部長、保健福祉部次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、イベントの開催制限の緩和など、今後の対応について協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<p>〔冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 7月9日までに感染拡大の兆しが見られない限り、7月10日から段階的緩和のステップ3に移行する。一方で、東京の感染拡大が懸念。7月9日に本部会議を開催し、ステップ3への移行について決定した際に、併せて、職員の出張について留意するよう注意喚起を行う。(保福) ○ 昨日の国の分科会で、その次のステップは7月20日くらいの判断になるとのこと。東京の感染が今後どうなっていくかが、イベント業者にとって死活問題となる。 ● もともと、北海道でのイベント開催は新北海道スタイルの実践を前提としており、全くの無条件での開催とはしていない。8月1日以降は別途通知すると言われたきりなので、現時点では判断基準がない状態。(副知事) ○ より一層、新北海道スタイルを実践してもらわないといけない。5000人は結構な規模であり、対策がとれていないとクラスターになってしまうかもしれない。感染状況も落ち着き、みんなの行動も開放的になっている中、さらにステップも緩和されると、気を付けながら行動するというこれまでのメッセージが弱くなってしまう。 ● 現在、東京では4日連続して100人確認されている中で、大規模イベントを開催すれば全国から多くの方が来られることになる。事業者の皆さんに対する徹底と参加する方への徹底をお願いする。 ● また、お盆、夏休みの前にも、再度、注意喚起をしなければいけない。(以上、保福) ○ お盆など人の移動が激しくなる時期には、全国で危機意識を高めることをやるべきである。国に対し、早く方針を出すよう求めるべき。 ● 東京都の感染拡大は、全国レベルの問題となっているので、全国知事会に投げかける(保福) ○ 日ハムとコンサドーレが北海道コロナ通知システムの導入に協力いただいた。ステップ3に移行するに当たり、そうした事例を参考にしてもらい、他の事業者にもシステム導入をお願いする。 ● 繁華街は、感染対策が難しいが、感染しにくい環境をつくるかしかない。それが新しい行動スタイル。ただし、ちょっと言い方を間違えると、そういう店に行くとすぐに感染すると思われる。「行くな」ではなく、そういう業態で発生したから気をつけてという注意喚起が必要。(保福)

- 他県の繁華街などで、接待を伴う飲食店の任意団体が自主的に店舗訪問し、ガイドラインが徹底されているか確認している。感染者が出る前に自分たちで対策が不十分なところはお互い協力しながらやるという環境ができれば、商売もある程度安心して進めていただけるのではないかと。
- ススキノ観光協会、ビルの管理者からもアプローチしていただいて北海道コロナ通知システムの導入をお願いしているところ。（経済）
- 繁華街は接客形態としてリスクは高いので、感染者が出る前に、感染対策をやっていただくとお客さんに安心してご利用いただける。北海道のブランド価値も上がる。
- ススキノ対策は札幌と連携して検討する。（保福）

(以上)

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和 2 年 7 月 9 日(木) 16 時 00 分～17 時 00 分
場 所	知事会議室
出席者	知事、中野副知事、教育長、知事室長、総合政策部長、保健福祉部長、観光振興監、教育部長、保健福祉部次長、政策局長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、イベントの開催制限の緩和など、本部会議に諮ることとした。
発言者及び主な発言内容	<p>〔冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● これまで感染拡大の兆しは確認できないので、明日から段階的緩和のステップ 3 に移行する。この後、本部会議において正式に決定する。イベントの開催制限については、入場者数を 5 千人以下に緩和、無観客で開催されていたプロスポーツなどの観戦も可能となる。 ● 一方で、大規模なイベントの来場者には他都府県から参加も予想され、引き続き、常に見えない感染を念頭に置いて対応していかなければならない。 ● こうした状況を踏まえ、札幌ドーム、日本ハムファイターズ、コンサドーレ札幌と連携した感染拡大防止対策も参考にして、感染拡大防止対策にしっかり取り組んでいただくことについて、各部、各振興局から関係する事業者へ周知をお願いする。 ● 今後、職員の出張機会が増えてくる。飲食店などの利用にあっては感染防止対策が十分に取られている店舗を利用するなど、職員も「北海道スタイル」の実践の徹底をお願いする。 ● 前回の知事の指示を受け、石狩と胆振の振興局から「呼びかけ」の実施について報告する。こうした取組は市町村との日頃の連携が必要不可欠。今後とも振興局が一丸となった取組をお願いする。(以上、保福) ○ 夏休み、お盆や帰省などがあるので、より注意しなければいけないということは国としても発信していくべきだと思う。東京で感染が拡大する中、警戒しなければならないのではないかな。 ○ Go To キャンペーンをやれば、人との接触の機会が増えるので、より慎重に行動してもらう必要がある。 ○ 道は、「どうみん割」などで、先行した取組をしており、北海道スタイルの実践で得られた注意点や問題点などの事例を集めて、Go To や帰省に活かすことができないか。折角ここまでみんなで頑張っ、病床もなんとか 50 床くらいまで来ているところに、集団感染が出たり、孤発が急増したりとなったら大変である。具体的にこういうことに気をつけてくださいと発信していく必要がある。 ● 「行くな」と言うのではなく、「より気をつけてほしい」ということを言った方がいい。(総政) ○ イベント開催に当たっては、我々はどう実効性を担保するかということを考えなくてはならない。国の通知をイベント主催者がきちんと読んでやってくれるかどうか重要となるので、事業者にも周知するに当たり、市町村と連携しながら取り組まなければならない。

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">● 今月中に有識者会議を設置し、これまで実施してきた緊急対策などについて、中間的な検証に着手する。これまでの対応について見直しを行い、より効果的な取組につなげていくため、検証の作業には各部局が連携して取り組んでいきたい。（総政） |
|--|--|

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和 2 年 7 月 16 日(木) 9 時 45 分～10 時 30 分
場 所	知事会議室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、知事室長、総合政策部長、保健福祉部長、経済部長、教育部長、保健福祉部次長、経済部次長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応について協議した。
発言者及び主な発言内容	<p>（冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 昨日（7月15日）、東京都は警戒レベルを最も深刻なレベルに引き上げた。また、昨日、ススキノにおいて集団感染が発生しており、道として警戒感を高めていかなければならない。 ● こうした状況を踏まえ、東京との往来や接待を伴う飲食店の利用に当たって注意喚起を行うこととしたい。（以上、総政） ○ ススキノの集団感染の発生は、大変憂慮すべき事態と考えている。 ● 本日、この後、札幌市長と意見交換を行う。ススキノの集団感染の発生を踏まえ、現在の感染を早期に、最小限に抑えるための「合同対策チーム」を設置し、連携して取り組むこととしたい。（保福） ○ 北海道最大の歓楽街であるススキノにおける対策は、極めて重要。感染者を追いなくなることが大きな懸念であり、その観点からも積極的な PCR 検査は重要。その結果、感染者は一時的に増えるかもしれないが、感染者を確実に把握し、濃厚接触者を抑え込むことができれば、ススキノが安全・安心な街であることを内外に示すことになる。 ● 今回の集団感染事案がススキノ全体や札幌市、北海道全域に広がっていると捉えられ、風評被害が広がることのないよう、情報発信には注意が必要。（副知事） ● 今回集団感染が発生したのは、身体的接触があるなどリスクの高い店舗。こうした事実も発信し、全ての店が危ないかのような風評被害につながらないようにするとともに、利用者にも対策をとっている店舗を選ぶという行動変容を改めて願います。（経済） ○ 明日、本部会議を開催し、庁内においてもこうした取組について共有したい。 <p style="text-align: right;">（以上）</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和 2 年 7 月 17 日(金) 9 時 00 分～10 時 00 分
場 所	知事会議室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、総合政策部長、保健福祉部長、経済部長、観光振興監、教育部長、保健福祉部次長、経済部次長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、接待を伴う飲食店を利用する際の注意喚起などについて本部会議に諮ることとした。また、記者会見で発表することとした。
発言者及び主な発言内容	<p>〔冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 昨日合意した札幌市と合同の「感染症対策チーム」は、本日付けで設置した。また、ススキノに PCR 検査センターを設置し、連携して検査を行うこととした。(保福) ● 集団感染は、濃厚接触者の把握が重要であり、接待を伴う飲食店の従業員及び利用者に対し、幅広く検査を受けていただくよう呼びかけていきたい。また、今回の感染が身体的接触など感染リスクの高いサービスを提供する店舗で発生したことから、すすきの全ての店が危険であるかのような風評被害を防止するためにも、そうした事実も発信するとともに、店舗、利用者それぞれに注意喚起を行うこととしたい。(総政) ○ 対策に当たっては、先行する新宿区等の取組を参考にしたい。個別店舗に対して啓発活動を行うのであれば、業界の皆様と合同パトロールのように一緒に回るのも一案。究極的にはどぶ板的な取組が必要。 ● 7 月 22 日から国の「GOTO トラベルキャンペーン」が開始。道では 7 月 1 日から「どうみん割」を開始しているが、本道観光の需要回復につなげていけるよう、今回の「GOTO トラベルキャンペーン」についても、まずは道内旅行に活用いただくよう、お願いすることとしたい。 ● 他方、「GOTO トラベルキャンペーン」の開始により、道外からの旅行者が増加することが見込まれることから、来道される方々には、「新北海道スタイル」の実践について、空港や駅など関係事業者と連携して呼びかけていく。 ● 東京では、7 月 15 日に、警戒レベルを 4 段階のうち最も深刻な段階に引き上げ、「GOTO トラベルキャンペーン」についても、昨日 16 日に東京発着分は対象から外すとの国交大臣発言があった。来道された方が安心して旅行いただくことが重要であり、そのためにも受け入れ側のみならず、来道された方に対しても新北海道スタイルの実践を呼びかける取組を進めていく。(以上、観光) ● 東京との往来については、慎重に判断いただくよう、道民にお願いすることとしたい。(総政) ○ 事実を正確に伝えることが重要であり、まずは東京がどういう状態であるか、そして、東京都が都民に対してどのような要請を行っているかを伝えた上で、慎重に判断を求めることが必要。 ● 東京都が自ら「感染が拡大している」と評価し、都民に対して「都外への不要不急の外出をできるだけ控えるよう」要請を行っている。本日の東

京の感染状況も踏まえ、そうした事実を考慮して、東京都への往来の判断をしていただくことをよびかけることとしたい。（総政）

- 今後、道外との往来が増加する。空港、鉄道、フェリーなどのターミナルにおいて、来道者に新北海道スタイルの徹底をお願いする必要がある。徹底的にやらなければ、結局、交通事業者もダメージを被ることとなる。観光ハイシーズンとなる7月から9月に、しっかりと取り組みたい。道民みんなで新北海道スタイルを徹底的に実施する期間としたい。

(以上)

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和 2 年 7 月 27 日(月) 9 時 00 分～10 時 00 分
場 所	知事会議室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、総合政策部長、保健福祉部長、経済部長、教育部長、保健福祉部次長、経済部次長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、イベントの開催制限などについて本部会議に諮ることとした。
発言者及び主な発言内容	<p>〔冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 7月22日(水)に国の分科会及び対策本部が開催され、イベントの開催制限について、当面8月末まで人数上限の制限を維持することとされた。 ● 大規模なイベントは全国的な移動を伴うことなどにより、地域の感染リスクが拡大する可能性がある。首都圏や関西圏をはじめ、全国的には感染が収まっている状況とは言えず、国の決定を踏まえ、道としても、本日、本部会議を開催し、当面8月末まで人数上限の制限を維持することとする。 ● その際、5,000人以下のイベントについても、多くの人が集まることに変わりはないことから、引き続き、業種別ガイドラインの遵守、感染リスクを低減させるための対策の徹底について認識を共有したい。 ● 現在、ススキノの接待を伴う飲食店における集団感染の抑え込みに向けて、合同対策チームによるPCR検査の実施や、事業者へのガイドラインの遵守の徹底等の取組を行っているが、他の地域においても道民や事業者への注意喚起は必要であることから、本部会議で情報を共有し、各地域における働きかけを依頼することとする。 ● この連休においても首都圏等の感染拡大が続いており、本部会議においてもそうした情報を共有したい。交通企画監からも来道者向けの取組状況を報告してもらおう。(以上、総政) ○ 首都圏等の感染拡大は深刻な状況。政府や感染が拡大している地域がどのように評価しているかを正確に伝え、仮に訪問した場合でも、その行動には制約が伴うということを理解してもらおうことが必要。 <p style="text-align: right;">(以上)</p>

※ (知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和 2 年 7 月 29 日(水) 9 時 00 分～10 時 00 分
場 所	知事会議室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、知事室長、総合政策部長、保健福祉部長、観光振興監、教育部長、保健福祉部次長、経済部次長、政策局長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応について協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 9月までを北海道スタイルの集中キャンペーン期間として、打ち出すこととしたい。 ● 内容としては、①接待を伴う飲食店への働きかけ、②接待を伴う飲食店以外の事業者への働きかけ、③宿泊事業者・交通事業者への働きかけ、④感染症対策の解説動画制作等。(以上、経済) ○ 首都圏、関西圏中心に感染拡大傾向にある中、北海道は踏み止まっている状況。みんなでこの状況を何とか凌いでいかなければならない。だからこそ、今、キャンペーンを張る。この時期に、北海道スタイルを徹底することが重要だと、道民、事業者みんなが思ってもらえるように展開していく。 ● 有識者会議において、第1波への対応、第2波への対応、経済対策、今後の対応などを論点とし、また、市町村や関係団体にアンケートを実施し、9月までに中間検証を取りまとめる。(総政) ○ 検証を丁寧にやりつつ、早めにまとめて、次の波に備えなければならない。 ● 検証は9月以降も閉じるわけではない。掘り下げるべきところは9月以降も実施する。(副知事) ● 7月31日の国の分科会で、新たな基準、指標が議論される予定。分科会を踏まえて、道においても警戒ステージの見直しについて検討することとしたい。 ● 見直しに当たっては、現在、有識者会議において、これまでの道の対応について検証することとしていること、警戒ステージに基づく措置は道民生活に大きな影響を及ぼすことから、専門家や市町村などの意見を踏まえて丁寧に進めていく。(以上、総政) <p style="text-align: right;">(以上)</p>

※ (知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和 2 年 7 月 31 日(金) 8 時 45 分～9 時 30 分
場 所	知事会議室
出 席 者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、知事室長、総合政策部長、保健福祉部長、観光振興監、教育部長、保健福祉部次長、経済部次長、政策局長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応について協議した。
発 言 者 及び主な 発言内容	<p>〔冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「北海道スタイル集中対策期間」の取組、職場における感染防止に道庁が率先して取り組むことについて、本部会議で決定することとしたい。 ● 職場における集団感染の防止に向けては、道民の皆様に対し、会食においては北海道スタイルの実践や大声を控えていただくことなどをお願いし、事業者の皆様には、引き続き、時差出勤やテレワークの促進等をお願いすることとする。（以上、総政） ○ 現在のところ、重症者数は少ないが、東京都や大阪府のように患者が若者から高齢者にシフトしてきているのは、注視が必要。 ● 若者中心の感染者から高齢者に拡がると、一気に病床が埋まってしまう恐れがあるので、医療提供体制の指標について留意が必要。（副知事） ● 東京都で過去最大の更新が続いている状況。道外への往来について、道民へのメッセージを強める必要があると考えている。（総政） ○ 道においても、気を引き締めて、ここで感染の拡がりを抑える対策が必要である。 <p style="text-align: right;">（以上）</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和 2 年 8 月 5 日(水)15 時 30 分～16 時 30 分
場 所	知事会議室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、知事室長、総合政策部長、保健福祉部長、観光振興監、教育部長、保健福祉部次長、経済部次長、政策局長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応について協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<p style="text-align: center;">〔冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 現在の道内の新規感染者の数だけをみると 4 月に札幌と緊急共同宣言を発出した頃の水準。大きく異なるのは病床の使用率と検査数。 ● リンクなしは過半数にはいっていないこと、病床の使用状況については、まだ低いことなどから、今すぐに警戒レベルを引き上げる状況には至っていないものと認識。 ● 一方で足元の感染状況は警戒すべき状況であり、特に来週お盆の時期を迎え、人の往来が活発になることから、効果的な注意喚起が必要。(以上、総政) ○ いきなり休業要請や時短営業の要請ではなく、まずは効果的な注意喚起を行うことが必要ではないか。 ● 足下の感染状況のうち、気になるところはリンクなしの割合。札幌市における保健所の体制等を拡充しているにも関わらず、リンクなしの割合が高いのは、それだけ感染者の数が潜在的に多くなっている可能性がある。(保福) ○ どうしても札幌市の影響が大きくなる。全道分と札幌市分を分けて分析する必要がある。全道分だけでは現状を的確に表せない。 ● 札幌市の状況を踏まえて具体的な対応について改めて相談したい。 ● 警戒ステージの国の具体的な内容が見えていない。国の決定を見た上で検討しなければならない。(以上、保福) ○ 警戒ステージの見直しについて、丁寧にプロセスを踏むことは大事。他方、足元の数字を見ると急ぐ必要もある。国の動き次第ではあるが、足下の感染状況に応じて、見直しに係る日程の前倒しを念頭にしながら、速やかに手続きをとってもらいたい。 ○ お盆、帰省の時期の対応をどうするか。東京や大阪といった地域とは状況が異なるが、道も警戒する必要がある。総じて本道は医療体制が厳しい。離島もある。また、殆ど過疎地域であり、高齢者も多い。「往来しないでくれ」と呼びかけている県もあるが、そういう県への移動、往来はどうするか。 ● 道内の宿泊状況としては、お盆の時期は満室状態。(観光) ○ 国の分科会でどのような行動を求めるかを見る必要があるが、地域状況に配慮が必要。特に、小さい町で感染者がでると対応が厳しくなる。道民の皆さんにしっかりと伝えていかななくてはならない。 <p style="text-align: right;">(以上)</p>

※ (知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和 2 年 8 月 6 日(木)11 時 00 分～12 時 00 分
場 所	知事会議室
出席者	知事、中野副知事、総合政策部長、観光振興監、総務部長 保健福祉部次長、経済部次長、政策局長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応について協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<p style="text-align: center;">〔冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 新規感染者数だけを見れば、4月の札幌との緊急共同宣言時と同水準。(総政) ○ 検査数が増えると、陽性者の確認数も増える可能性があり、こうしたことも分かりやすく説明できるようにして欲しい。相談件数との関係も分かれば良い。 ● 札幌市とそれ以外で比較すると、感染者はどちらも増加しているが、リンクなしの感染者数は札幌市が多い。 ● 7月以降の新規感染者の発生状況を行動別に分類すると、①道外事案、②会食・飲食、③家庭内、④接待を伴う飲食店となる。こうした状況を踏まえて、注意喚起の内容を検討したい。(以上、総政) ○ 属性区分による分析は良い。本当は国のシステムで統一的に属性区分がされていれば良いのだが、そうっていないのであれば、人口の多い東京都において先行して属性の傾向が現れるので、東京都を参考にすると分析がしやすくなると思う。 ○ すすきのでは集中対策期間で対策をやっているところだが、会食・飲食の場面での対策も必要となる。 ● 明日、分科会において感染状況判断に係る指標について議論される見込み。(保福) ○ 国の指標の決定を踏まえ、警戒ステージの見直しは、速やかに進めることが必要。 ● 国の分科会の提言を踏まえ、道民や若者、事業者といった対象者別に、北海道スタイルの徹底などをお願いし、改めて行動変容を訴えることとしたい。(総政) ○ 道民の皆様や来道される方々には、帰省や旅行、会合の前に、一緒に行動する方々で、自ら考え、話し合ってもらうことが何より重要。 ○ 行ってから考えるのでは遅いので、行く前に話し合ってもらうことが重要。リスクの回避が徹底できないのであれば、帰省等を控えてもらった方が良い。 ● 「体調に変化があった場合は行かない」というのは当たり前のことだが、予定を優先して体調変化があっても出かける人が多い。このまま感染者数が増えていくと、保健所の体制も危ない状況になる。疫学調査が追いつかず、リンクが追えなくなってしまう。(保福) ○ メッセージは分かりやすさが重要。例えば、高齢者が加わった会食で、密着して、マスクなしで、近況を話し合うようなシーンをイメージしてもらい、それが徹底できないなら、オンラインで会食や帰省をするようお願いしてはどうか。

- お盆休みにおける帰省時のメッセージとするのであれば、帰省することを前提とした内容として、工夫してはどうか。（経済）
 - 帰省という予定があつたとしても、体調が悪い場合は考え直して、というメッセージも重要。（保福）
 - 若者世代は、無症状が多いので、知らずにうつすかもしれないことに注意を喚起したい。事業者向けには、お客さんが大声を出さないような環境づくりを呼びかける。（総政）
 - 「マスク着用の徹底」が極めて重要ではないか。マスクをしていれば良いが、飲食する際は、マスクを外すのでどうしてもリスクが高まる。
 - 飲食・会食は、食べる時は静かに大声を出さずに食べる、しゃべる時はマスクをするという考え方となる。大声で話さなくとも、長時間にわたって話せば、飛沫による感染リスクは高まる。（総政）
 - 飲食・会食の際には、マスクをこのように着用して欲しい、ということ を改めて伝えることとする。（総政）
- （以上）

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和2年8月7日(金)11時00分～11時30分
場 所	知事会議室
出席者	知事、中野副知事、総合政策部長、保健福祉部長、観光振興監、総務部長、保健福祉部次長、経済部次長、政策局長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応について協議し、警戒ステージの見直しなどについて本部会議に諮ることとした。また、記者会見で発表することとした。
発言者及び主な発言内容	<p>（冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● お盆時期を迎えての注意喚起の内容については、本部会議で決定することとしたい。 ● これまでの感染事例で見られた主な行動例を多い順に整理すると、①接待を伴う飲食店等の利用、②飲み会やライブ等への参加、③家庭内や車内、④東京など感染拡大地域との往来の順となっている。 ● 前回の打ち合わせを踏まえ、帰省、旅行、会合などに出られる場合には、事前にみんなで感染リスクや感染防止対策などを話し合ってもらうことを提起し、併せて、感染リスクが高い状況を分かりやすく例示することで、行動変容を訴えることとしたい。（以上、総政） ○ 何よりも、体調の悪い方は、そもそも外出は控えてもらうことが重要。 ○ その上で、帰省、旅行、会合などをする際に、道民や来道者が何をすればよいかを明確に、分かりやすく説明したい。①感染リスクが回避できるかどうか、事前にみんなで話し合う、②回避できないならば考え直すしてくださいという構成で呼びかける。 ○ 国の分科会における警戒ステージや指標等の設定についての議論を踏まえ、道の警戒ステージの見直しについて、本部会議で指示することとしたい。 <p style="text-align: right;">（以上）</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和 2 年 8 月 17 日(月)13 時 15 分～14 時 15 分
場 所	知事会議室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、教育長、公営企業管理者、知事室長、保健福祉部長、経済部長、観光振興監、保健福祉部次長、経済部次長、政策局長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、警戒ステージの見直しなど、今後の対応について協議した。
発言者及び主な発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 国ではステージⅡの指標を明らかにしていないが、国の分科会の提言を基本としつつ、感染者が急増するステージⅢへの移行を未然に防ぐため、北海道としてはステージⅡに移行する指標及び講ずべき施策を設定することとしたい。また、ステージⅡを2段階に分けて対策を実施することとしてはどうかと考えている。 ● 感染拡大防止の観点から全道域での取組を基本としつつ、地域における感染状況等を踏まえた適切な対応を検討。 ● 病床の指標については、最大確保病床数の約 1800 床をベースに算出。 ● 感染者数の指標は、4 月の緊急事態宣言時において、おおよそ 10 万人あたり 2.0 人であったため、この数字をステージⅡの 1 に、また、10 万人あたり 2.5 人の指標をステージⅡの 2 に設定。 ● PCR 検査陽性率は、5 月以降は 5%程度で推移し、ステージⅡにおいて、定量的な指標を設定することが困難であるため、定性的な指標とした。 (以上、総政) ○ 総合的判断に当たり重点的に見る指標はあるか。また、現状がどのステージなのか整理することが必要。 ● 国では医療提供体制等の負荷を重視しており、道も同様の考え。指標に照らすと現状はステージⅠとなるが、新しい警戒ステージを本部で決定する際、現状がステージⅠに当たることも併せて決める予定。 ● ステージⅠとⅡの違いは、個人の行動の奨励的な要請から、特措法第 24 条に基づく行動の制限・制約についての要請となる。(以上、総政) ○ 休業要請や時短営業要請を行う前に、まず、一般の人々に行動を変えてもらうということが効果的。対外的に発するメッセージは、わかりやすくシンプルにする必要。 <p style="text-align: right;">(以上)</p>

※ (知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和 2 年 8 月 24 日(月)11 時 00 分～12 時 00 分
場 所	知事会議室
出席者	知事、総合政策部長、保健福祉部長、経済部長、観光振興監、教育部長、保健福祉部次長、経済部次長、政策局長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、新しい警戒ステージなど、今後の対応について協議した。
発言者及び主な発言内容	<p>（冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市町村や関係団体に対するアンケート結果について取りまとめた。全般として、おおよそ妥当であるとの意見であるが、市町村との情報共有・連携については、評価が拮抗しており、今後の対応が必要。（総政） ○ 第 1 波、第 2 波への対応については、すべて前例のない中での対応の連続であった。そうした制約の中での当時の判断について、有識者会議の委員からは、専門的立場から意見を聞きたい。 ○ 情報公開のあり方について、公開すべきという意見も多いが、疫学調査・個人情報保護の観点から慎重に対応すべきといった意見もある。そうした背景をきちんと説明することが重要である。 ● 有識者会議で指摘された情報公開の検討に当たっては、差別・偏見の防止の観点に加え、疫学調査への影響など、丁寧な説明が必要であると考えている。（保福） ● 新しい警戒ステージについて、事前に専門家や市町村、有識者などに意見を聞いたところ、専門家からは適切であるとの意見をいただく一方、市町村等からは、道民にとって分かりやすくすること、地域ごとの対応に配慮すること、などの意見が寄せられた。 ● こうした意見に基づき、ステージ I における感染状況に応じた振興局による注意喚起を追加し、各警戒ステージの対応の目安において、要請例の具体的例示を明記した。（以上、総政） ○ 今回の修正した内容で了解した。道民に伝える際には、より分かりやすく訴える必要がある。 <p style="text-align: right;">（以上）</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和 2 年 8 月 25 日(火)13 時 30 分～14 時 00 分
場 所	知事会議室
出席者	知事、中野副知事、総合政策部長、保健福祉部長、教育部長、保健福祉部次長、経済部次長、政策局長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、新しい警戒ステージなどについて、本部会議に諮ることとした。
発言者及び主な発言内容	<p>（冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 協議事項は 2 つ。イベントの開催制限と新しい警戒ステージについて。 ● イベントの開催制限については、国の決定を踏まえ、当面 9 月末まで継続することについて決定した上で、5,000 人以下のイベントについても感染防止対策の徹底について共有したい。 ● 新しい警戒ステージの設定については、上のステージに移行させないという思いを本道全体で共有しながら、感染拡大防止と社会経済活動を両立させ、感染症に強い社会を築いていくため、警戒ステージの考え方を機会あるごとに周知し、取組の基盤となる新北海道スタイルの定着に向けて全庁を挙げて取り組む。 ● 教育長から北見市での高校の休業について報告がある予定。（以上、総政） ○ 2 つの協議事項について了解。学校休業については、子どもたちへの影響を最小限にする必要がある。 ● 昨日の有識者会議においても、感染状況等のモニタリングの必要性が挙げられていたが、新しい警戒ステージの設定に合わせて、報道発表資料やホームページでの公表指標もリニューアルする。（総政） ○ 感染症の数値状況やグラフとともに、各警戒ステージの状況や対応の目安について、分かりやすく HP 等に示して欲しい。 <p style="text-align: right;">（以上）</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和 2 年 9 月 14 日(月)10 時 30 分～11 時 20 分
場 所	知事会議室
出席者	知事、中野副知事、公営企業管理者、総合政策部長、保健福祉部長、観光振興監、総務部長、教育部長、保健福祉部次長、経済部次長、政策局長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、イベントの開催制限などについて本部会議に諮ることとした。
発言者 及び主な 発言内容	<p>〔冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 先週 11 日に国の分科会が開催され、イベント等の開催制限について、イベントの類型に応じた緩和の方針が決定された。その国の決定を踏まえ、道内外の感染状況を勘案し、道としても本日、本部会議を開催し、制限の緩和を決定したい。 ● 開催制限は、感染防止対策が担保されているという条件の下、9 月 19 日以降、人数上限と収容率を緩和する。 ● また、感染状況に加え、Go To トラベルの追加的な動きについて情報共有を行いたい。(以上、総政) ○ イベント等の開催制限の類型が複雑で、一回聞いただけでは理解することが難しい。19 日までにできるだけ丁寧に情報発信していくことが必要。 ● 国からは、大声での歓声・声援等が想定されるもの、されないものの事例が示されているが、多少複雑になっているので混乱が生じないように、丁寧な対応をしていく。(総政) ○ イベント主催者から道に相談いただいた場合の対応をしっかりとしてほしい。他方で、相談がなされずに、条件が守られていないイベントが実施された場合にもどうするかも課題。 ● 本庁各部において、イベント主催者等からの個別の相談対応に応ずるほか、地域からの相談については、振興局と連携を図りながら指揮室において対応する。各部や振興局と対応方法等について認識の共有を図られるよう、担当者の会議等を行う予定。(総政) ○ 道立の施設についても、率先して適切に対応する必要があるが、他の民間施設の模範となるよう慎重に取り組まなければならない。 ● 本部会議において、道立施設における対応を速やかに行うことを申し合わせたい。(総政) ○ Go To トラベルでは、若者や高齢者の利用について制限が課されている。大規模イベントについても、全国的な人の移動を伴うものであり、今回の緩和に関しても、統合的なかたちで行う必要があるのではないかとされている。 ● Go To トラベルでは、若者や高齢者の団体旅行は控えることが望ましいとされている。一方で、一律に支援対象外とするのではなく、着実な感染防止策が講じられていることを前提として、適切に旅行が実施されるように周知を徹底することとされている。(観光)

- これまでも感染リスクを避けるため、若者や高齢者に対する注意喚起を行ってきた。そのような趣旨をイベント主催者からも、注意喚起を行っていただくようにした方が良いのではないか。
- イベント主催者等への協力依頼について周知を図るようにしたい。
- いずれにしても、全国的な人の移動が伴うイベントのうち、感染防止対策がとれないものについては、中止を含めて慎重に検討いただくこととなる。（以上、総政）
- 何より現場が混乱しないように明確な説明が必要。
- 市町村や関係団体宛の通知に当たり、チェックリストなどを活用し、できるだけ分かりやすく説明していきたい。（総政）

(以上)

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和 2 年 10 月 1 日(木)14 時 00 分～15 時 00 分
場 所	知事会議室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、教育長、総合政策部長、保健福祉部長、保健福祉部次長、経済部次長、政策局長、政策局次長ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応について協議した。
発言者及び主な発言内容	<p>〔冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 昨日、新規感染者数がステージ 2 の基準を上回ったが、入院患者は増えておらず、重視すべき病床の基準には達していない。直ちにステージ 2 に切り替えなければならない状況ではないが、現在の感染状況を踏まえて、適切に対応を取っていく必要がある。 ● 人の移動が活発になっており、一定の感染発生を前提とした対応が必要。特に、地域への拡大、重症化リスクの高い方への感染拡大を防ぐことを最優先に、感染拡大の芽を早期に抑え込むことが重要と考えている。 ● そうした中、最近の傾向を踏まえると、感染を拡げないための疫学調査の徹底、効果的な注意喚起が重要。（以上、総政） ○ 感染者の発生状況を見ると、石狩振興局管内、特に、札幌市内の発生が多い。仮にステージ 2 になった場合、札幌市を中心に考えるか、また、ススキノなどの一部の地区や接待を伴う飲食店など業種・業態に限定したものとするのか。社会経済への影響を最小限にしながら、感染拡大を防止するための対策をどのように打つか考えていかなければならない。 ● ステージ 2 の要請内容は、基本的には、これまで注意喚起してきた内容を徹底するものとなる。その場合は、全道で注意喚起しながら、札幌で、更なる徹底をお願いすることが想定される。（総政） ● 感染の発生が特定地域のみ限定されている場合には、全道で注意喚起を行う必要性等をきちんと説明しなければならない。（副知事） ○ ステージを上げたときの道民、道外の方の受け止めを、想定しておかなければならない。伝え方を考えておく必要がある。 ● ステージ 2 に上がった場合に、意図しない影響が出てしまうことが考えられる。北海道が危ない、札幌が危ないといった印象が拡がり、 unnecessary キャンセルなど、経済の過度な萎縮につながらないようにもしないといけない。また、事業者の気持ちの面の影響も考慮する必要がある。（副知事） ○ ステージの切り替えや、対策のフェーズを変える際において、対策の中心が札幌となる場合は、その前段で、札幌市としっかりと情報共有を図る必要がある。 ● 今後の注意喚起を効果的に行うためには、季節性インフルエンザの周知や偏見・差別の防止など効果的な情報発信が必要であり、札幌市とも連携して実施することとしたい。

- いずれにしても、医療提供体制の負荷の状況が特に重要となってくるので、病床全体、又は重症者用病床の増加傾向を踏まえながら適切に対応していきたい。（以上、総政）
- 入院措置の見直しについての国の動向はどうなっているか。医療提供体制の負荷についての状況の判断が、変わってくるのではないか。
- 国の動向は10月中には出てくるが、実際、改正される政令を見ないと分からない。なお、全国知事会では、都会と地方において医療提供体制に違いがあるので、知事の判断において入院措置が変えられるよう要望しているところ。（保福）

（以上）

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和 2 年 10 月 13 日(火)10 時 00 分～10 時 45 分
場 所	知事会議室
出席者	知事、中野副知事、保健福祉部次長、経済部次長、政策局長、 政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、札幌市との意見交換など、今後の対応について協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 今回の札幌市との意見交換の趣旨としては、現状の厳しい感染状況等について認識を共有するとともに、ステージ 2 に移行させないため、道と市が連携して取り組むために、意見交換を行うもの。(総政) ○ 今回、道と札幌市の連携による感染拡大防止対策は、すべて新規のものか。 ● 基本的には、すべて今後実施するものであり、これまで取り組んできたものも、コンテンツを更新して実施することを検討している。(総政) ○ 仮にステージ 2 に移行した場合には、メッセージの発信の仕方も考えなければならない。観光キャンペーンのタイミングにも留意が必要。 ● これ以上感染を拡大させないためにも、今実施できる対策を打ちたいと考えている。また、感染拡大防止対策を徹底することにより、プラスのイメージ発信につなげていきたい。(総政) ○ 北海道は、先んじて「どうみん割」を実施し、観光の受け入れのノウハウを蓄積してきた。「どうみん割」では大幅な感染拡大は招いておらず、その経験を活かして、道と札幌市が連携をした取組を行っていくことが重要。 ○ 一方、知事と市長が意見交換をするという事実だけでも、過度に経済活動に心理的なマイナスイメージを生じさせかねない面も考慮すべき。この面談において、感染拡大を防止することが経済活動の継続にもつながるとの認識を共有し、そのために取組を進めていくというメッセージを打ち出すことが重要。 <p style="text-align: right;">(以上)</p>

※ (知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和2年10月16日(金)9時00分～9時40分
場 所	知事会議室
出席者	知事、中野副知事、総合政策部長、保健福祉部長、環境生活部長、保健福祉部次長、経済部次長、政策局長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応について協議した。
発言者及び主な発言内容	<p>〔冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 足下の感染状況を踏まえた対策として、一昨日の札幌市との意見交換をベースに、①感染拡大防止対策の拡充・強化、②リスクを回避する行動等に関する普及啓発、③差別・偏見防止対策という観点から取組を進めていく。 ● 偏見・差別防止対策については、本日、専用の窓口を設置することとし、併せて、知事メッセージを发出したい。(以上、総政) ● 知事メッセージは6月にも出したが、主に医療関係者向けだったため、道民全体向けに发出する。また、北海道スタイルのピクトグラムに、偏見・差別防止も追加することとした。相談窓口は本庁に設置し、電話とメールにより受付をスタートする。(環生) ○ これまではどのように相談を受けていたのか。 ● 道においては、これまで、保健所の感染症に関する全般的な窓口の中で、偏見・差別などについても伺っている状況。今後は、保健所としっかりと連携するとともに、法務局や労働局とも連携しながら適切に対応していきたい。(環生) ○ うまく連携しないと相談者がさらに傷ついてしまう恐れもある。相談者の負担にならないよう、関係部局と緊密に連携して対応して欲しい。 ○ 地域によっては、久方ぶりに感染者が出ているところもあり、不安な気持ちも高まっているのではないかと心配している。 <p style="text-align: right;">(以上)</p>

※(知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和 2 年 10 月 22 日(木) 11 時 30 分～12 時 00 分
場 所	知事会議室
出席者	知事、総合政策部長、保健福祉部長、観光振興監、経済部次長、政策局長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応について協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 感染者が再び増加し、歯止めがかかっていない状況。これまで道民、事業者の皆さんには感染防止対策に多大なるご理解とご協力をいただいていたところであり、社会経済が活発化する中、来道される方に対する啓発にも、より一層、力を入れていくことが必要。 ● そのため、北海道への到着時、移動時、滞在時など、要所要所で来道者に働きかけを強化していくこととしたい。(以上、総政) ○ 人の往来について、例えば、観光入込客数の増加と感染者数の増加がリンクしているなど、特徴的な動きはあるか。 ● 基本的には、10月、11月は、観光としては閑散期となる。土日は大分戻ってきたが、平日は夏のように活発ではない。(観光) ● 感染者数については、国の分科会では、増加要因と減少要因のバランスによるものとされている。人の移動が活発となり、リスクの高い行動が多くなると、増加要因として作用するということは言える。(総政) ○ 誘客に向けては、感染防止対策が大前提。来道される方も万全の対策を講じながら、北海道に来ていただくことが必要。夏シーズンは、関係者の皆さんのおかげで、かなりの部分を戻すことができたが、11月から年末に向けて、観光は厳しいシーズンとなるので、そのための対策が必要であるが、誘客のキャンペーンのタイミングについては、感染状況を見極めて実施していくこととしたい。 ○ 今後、冬の観光シーズンが始まるが、スキー場などの感染防止のガイドラインやマニュアルづくりは進んでいるのか。 ● 道内のスキー場が加盟する北海道索道協会を中心に取組が進められており、シーズン前に間に合う見込み。(観光) <p style="text-align: right;">(以上)</p>

※ (知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和 2 年 10 月 26 日(月) 15 時 00 分～15 時 45 分
場 所	知事会議室
出席者	知事、浦本副知事、中野副知事、教育長、公営企業管理者、知事室長、総合政策部長、保健福祉部長、観光振興監、総務部長、経済部次長、政策局長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応について協議した。
発言者及び主な発言内容	<p>〔冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本日、ステージ 2 に移行する目安となる 7 指標のうち、重症の感染者数、感染経路不明割合以外の 4 指標で基準を超え、最も重視している入院者数も基準の 150 人に達する見込み。世代間や地域の感染も広がっており、感染状況等を総合的に勘案し、ステージ 2 への移行に向けた手続きを進めたい。 ● 感染拡大防止に向けた施策としては、2 週間の集中的な対策期間を設けて、特措法 24 条 9 項に基づく協力要請と道としての対策強化に取り組むこととしたい。 ● 感染者数等が確定した段階で、有識者や専門家に意見照会するとともに、市町村や関係団体等に情報提供する。(以上、総政) ○ 札幌市内での行動変容の徹底など、札幌市の対策が重要となる。札幌市と認識や対策について共有しておく必要がある。改めて、札幌市とその点を協議した上で、専門家の意見を確認する手続きを進めて欲しい。 ○ ステージ 2 の位置付けをきちんと伝えて、危機感や感染防止意識を共有することが重要。 ● これまで第 1 波から始まり、半年以上、道民や事業者に対して注意喚起など様々な取組をお願いしてきている。これまでと同様のやり方で注意喚起を行っても、これ以上、どうすれば良いのかということになりかねない。感染が広がったという具体的な場面や行動の事例を出すなどして、危機感を共有する。(総政) ○ 道民一人ひとりに、行動変容を具体的で分かりやすくお願いしていくことが重要。例えば、2 週間はマスクの着用を徹底するなど、何をすれば良いのかを分かりやすく説明することが重要。 ● 本部会議に続いて、知事の臨時会見を想定しており、その会見において、ステージ 2 の移行について丁寧に説明するとともに、分かりやすいメッセージを発信できるよう準備したい。(総政) ○ ステージは、客観的な基準に基づいて移行するもの。集中対策期間を設定するのは良いが、ステージ 2 に期間を設けるものではないため、対策の期間との関係についても、分かりやすい説明が必要。 <p style="text-align: right;">(以上)</p>

※ (知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和 2 年 10 月 27 日(火) 17 時 00 分～17 時 40 分
場 所	知事会議室
出席者	知事、中野副知事、総合政策部長、保健福祉部長、観光振興監、 総務部長、政策局長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、警戒ステージの見直しなど について本部会議に諮ることとし、記者会見で発表することとした。
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況に ついて意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 専門家、有識者等からは、内容について妥当であるとのご意見を多く いただいた。また、札幌対策を強化して、札幌市と連携して取組を進めるべ き、子どもにも分かりやすいメッセージを加えると良い、特定の地域や業 態を対象としたステージの引き上げの検討が必要といったご意見もいただ いた。 ● 道としては、道案に概ね賛同いただいたと判断し、明日、本部会議で協 議して決定したい。(以上、総政) ○ 決定内容については了解した。集中的に取り組む施策について、道民や 事業者などに、浸透しやすくする工夫が必要。また、市町村や民間企業に お願いするに当たり、まずは道庁、振興局、道立施設において、情報発信 していくことが必要。 ● 本部会議においては、警戒ステージの移行決定に併せ、ステージ 2 の意 味合い、ステージ 3 に移行させないためにこの段階で抑え込むことの重要 性を共有する。 ● 市町村や関係団体等と協力しながら、道庁のネットワークを活用して、 普及啓発等に取り組みたい。(以上、総政) ○ 道としても相談や検査体制等を強化していくことが重要。また、来道者 にも感染対策を徹底してもらうことが重要。 ○ ステージ 2 の対策は、札幌市内での取組が重要となるので、道と札幌市 の連携した取組を強化していくことが必要。 <p style="text-align: right;">(以上)</p>

※ (知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和 2 年 11 月 3 日(火・祝) 14 時 00 分～15 時 15 分
場 所	知事会議室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、知事室長 総合政策部長、保健福祉部長、経済部長、総務部長、観光振興監、 保健福祉部次長、政策局長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応について協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 接待を伴う飲食店を中心に拡大している現在の感染状況を踏まえると、札幌市は「すすきの地区」を対象に、営業時間の短縮の要請を検討せざるを得ないのではないかとしている。(総政) ○ この度の感染拡大の要因の分析も必要である。また、他の都府県の繁華街対策との比較検討も必要。 ● 札幌市が分析を進めているが、接待を伴う飲食店等での感染拡大が家庭や職場に拡がり、それが病院等にも伝播している可能性がある。そのため、地域や業態を絞って強い措置を行った上で、できるだけ早期に感染拡大を抑止したいと考えている。(総政) ● 国の分科会においては、繁華街における営業時間の短縮が感染を抑えたとの見解を出しており、時短が効果的との考え方である。(保福) ● 感染防止対策をとっていない店舗に対する休業をお願いしている県もある。この場合、支援金は出していない。(経済) ○ 営業時間の短縮という強い措置を実施するに当たっては、短縮する時間だけではなく、要請期間についても考慮する必要がある。 ● 事業者への時間短縮要請と併せて、利用者への行動変容の要請をセットで行うことが重要。(保福) ● 「すすきの」は、札幌市民だけではなく、道民の誰もが利用する。札幌市民以外の道民に対して、すすきの地区における行動変容を促すことも必要。(総政) ● 営業時間の短縮は経済的にマイナスの影響が出るが、経済を完全に止めてしまわないためにも、今、この対策をやるという説明が必要。(副知事) ○ 道の警戒ステージとの整合性は取れているか。 ● ステージ 3 以降の施策には地域性を勘案すべきとの専門家の意見も踏まえつつ、慎重にモニタリングを続けており、ステージの移行についても並行して検討している。(総政) ○ 地域や業態を絞るのであれば、疫学調査等を行っている札幌市から、現状の分析や対策の考え方を示してもらうことが必要。 <p style="text-align: right;">(以上)</p>

※ (知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和 2 年 11 月 4 日(水) 15 時 00 分～15 時 30 分
場 所	知事会議室
出 席 者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、知事室長、総合政策部長、保健福祉部長、経済部長、総務部長、観光振興監、保健福祉部次長、政策局長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、札幌市との意見交換など、今後の対応について協議した。
発 言 者 及び主な 発言内容	<p>〔冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 昨日より、札幌市と詰めの作業をしている。道としても、札幌市の感染状況を踏まえると、一段と強い措置が必要と考えている。それが、すすきのだけでいいのか、市全体となるのか、また、接待を伴う飲食店だけでいいのか、酒類を提供する飲食店全体となるのか、札幌市に詳しい要因分析をするよう依頼している。 ● 市内の感染データを把握しているのは札幌市。まずは、市の考え方を整理してもらおう形となる。その上で感染拡大防止に向けた対策を具体的に協議していくこととなる。(以上、総政) ○ 道と札幌市は、検査体制を含めて、一丸となって取組を進めていくことが重要。 ● 札幌市の分析に基づき、道と市が認識を共有した上で、専門家等の意見を踏まえ、早急に判断していく。(総政) ○ 事業者としては、在庫や注文など準備の都合もある。強い措置を要請せざるを得ないのであれば、早めに周知する必要がある。 ○ 飲食の場のリスクが高いことから、そうした場面における感染リスクを回避する行動も併せて呼びかけていく必要がある。 <p style="text-align: right;">(以上)</p>

※(知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和 2 年 11 月 5 日(木) 15 時 00 分～16 時 00 分
場 所	知事会議室
出席者	知事、中野副知事、知事室長、総合政策部長、保健福祉部長、経済部長、総務部長、保健福祉部次長、経済部次長、経済部次長、政策局長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応について協議した。
発言者及び主な発言内容	<p>〔冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ステージ 2 への移行から 1 週間しか経過していないが、この短期間で感染者、入院患者の増加が急加速しており、このスピードを考慮すると、入院患者は 1 両日中にステージ 3 の水準を超える可能性がある。ステージ 3 の移行の手続きを並行して進めることとしたい。(総政) ● 札幌市によると、すすきの地区においては、10 月に入り、接待を伴う飲食店の集団感染事例が増加している。酒類提供を行う店舗を利用した若者などから、福祉施設や病院などに伝播することで、重症化しやすい方々に感染が更に広がる恐れがあることから、すすきの地区の対策は重要であるとの分析である。(保福) ● 現段階でやるべきものを最大限にやるとの考えで、札幌市と内容を詰めていきたい。(経済) ● 協力要請期間は 3 週間程度としたい。感染拡大局面が続く中、これまでの集中対策期間より長くして、更なる悪化を防ぐため、集中的に実施したい。専門家からも、潜伏期間を考慮し、3 週間程度が効果的とも言われている。(総政) ○ 札幌市も道も時間のない中で対策を検討していかなければならないが、営業時間の短縮といった強い措置を行う以上、道民や事業者からの理解と協力が得られるよう、背景や理由を整理しておく必要がある。 <p style="text-align: right;">(以上)</p>

※(知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和 2 年 11 月 7 日(土) 11 時 00 分～11 時 30 分
場 所	知事会議室
出 席 者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、教育長、公営企業管理者、知事室長、総合政策部長、保健福祉部長、経済部長、総務部長、観光振興監、教育部長、保健福祉部次長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、警戒ステージの移行などについて本部会議に諮ることとした。また、記者会見で発表することとした。
発 言 者 及び主な 発言内容	<p>〔冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 昨日、専門家等の皆様にご意見を伺い、道民が混乱しないよう丁寧な説明が必要であるとの意見、札幌市だけでなく他地域の理解と取組を求める声、感染拡大防止が図られた際には速やかな解除を求める意見などが寄せられた。概ね、ステージの移行及び施策の内容について妥当であるとの意見であり、本日、本部会議でステージ 3 への移行を決定することとした。 (総政) ● 居酒屋の取扱いについて、関係団体から営業時間の短縮の対象から外すべきとの意見が寄せられ、札幌市と調整した結果、他の料理店との区別がつきにくく、混乱が生じることなどから、酒類提供の自粛を要請することとした。 (経済) ○ 対応案について了解。営業時間の短縮等に係る支援金については、対策の決定を説明する際に、併せて説明する必要がある。 ● 札幌市では、午後の本部会議で支援金について決定し、その後、道に協力を要請する方針と聞いている。道の本部会議では、札幌市から、そうした流れについて報告してもらうこととした。 (総政) ● 協力要請の措置内容を札幌市内と道内全域に分けて記載することとした。時間短縮等の対象施設については、別途、HP に詳細内容を示すこととしている。 ● 対象区域についても、札幌市及びすすきの観光協会と協議して設定したものであるが、すすきのの一部エリアとならざるを得ないので、丁寧に説明していきたい。 (以上、経済) <p style="text-align: right;">(以上)</p>

※ (知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和 2 年 11 月 11 日(水) 16 時 00 分～17 時 00 分
場 所	知事会議室
出席者	知事、中野副知事、総合政策部長、保健福祉部長、観光振興監、保健福祉部次長、経済部次長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応について協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 札幌市の感染者が 10 万人当たりでも極めて高いレベルになっている。このため、入院患者も急速に増加している。全道の入院患者数は 1 週間で約 2 倍に、療養者数も約 2 倍に増加している状況。（総政） ○ 指標上は、重症者数とリンク不明割合以外はステージ 4 の基準を上回っている。ステージの移行をしたばかりであるが、現状も踏まえ、更なる移行についても検討しなければならない。 ● 現在の対策の効果が出るのは少し先になる。本来であれば対策の効果を見極めたいが、それまで何もせず新たな措置を講じないと感染が拡大してしまうおそれもある。（総政） ○ 現在の感染状況が道内で一様でないことを踏まえると、営業時間の短縮や不要不急の外出自粛などを直ちに全道で実施するのではなく、札幌市の対策を重点的に行っていくことが重要。 ● ステージは全道域の対応としつつ、対策や措置は地域を絞って実施することもできるのではないか。様々な方法を検討したい。（総政） ○ 札幌市内における感染拡大の危機的な状況等についての札幌市長からの発信は重要。 ● 本日の札幌市長会見において、新たな宿泊療養施設、PCR 検査センターの設置、疫学調査体制の強化等について説明するとの情報提供があった。（総政） ● 道内では GoTo トラベルによる感染拡大は確認されておらず、例えば、函館市と札幌市では、同じ北海道でも状況がまったく状況が異なっている。（観光） ○ GoTo トラベルを止めるとすれば、国で判断すべきものであるが、仮にストップする場合でも感染拡大の収束後の再開のあり方等について、国に検討を要請することを準備しておくことも必要。 ○ コロナウイルス感染症との戦いは長期戦となり、最近では 100 人を超える日が続くなど、私たち関係者も、ある意味、感染状況に対して鈍感になっていないか、自戒が必要。宿泊療養施設についても、空振りになったとしても用意しておいた方が良いので、前広に検討しておくこと。 <p style="text-align: right;">（以上）</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日時	令和2年11月12日(木) 18時45分～19時45分
場所	知事会議室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、知事室長、 総合政策部長、保健福祉部長、経済部長、観光振興監、総務部長、 保健福祉部次長、経済部次長、政策局長、政策局次長 ほか
内容	感染状況などを踏まえ、今後の対応について協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<p>（冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 新規感染者が200名を大きく超える厳しい状況を踏まえ、追加対策の準備を進めていきたい。（総政） ○ 医療提供体制への負荷が増加している。病床の使用状況はどの程度になっていくことが見込まれるか。 ● 道央圏については、確保病床の半分までとはなっていないが、確保病床を最大まで広げると、一般診療に大きなしわ寄せがくることを想定しなければならない。（保福） ○ 札幌市長とも、市とその他の地域では状況が大きく異なるということで認識は一致している。 ● 追加の対策としては外出自粛や往来自粛を要請することも考えられるが、最近の感染要因を踏まえると、「移動」そのものよりも、リスクの高い「行動」を止めることが重要となる。（総政） ● 飲食の場面は、どうしてもマスクを外さざるを得ないことから、感染リスクが高くなる。そうした場面での行動を抑える必要がある。（保福） ○ 会食での感染拡大を防止するためであっても、すべての飲食店に対する休業要請を行うことは難しい。 ○ 実際に、すすきのの人出が減っているのですが、時短営業等の効果がでていいるものと思われるが、更なる対策として、どのようなものが考えられるか。 ● 例えば、20時といったように時間の前倒しを求めることや業態を絞って休業を求めることなどが考えられる。一方で、対策を厳しくした場合に、逆に守ってもらえなくなることも考えなければならない。実効性をどう担保するかという問題もある。（経済） ● 行動制限、店舗への要請の両面から、更なる検討を進める。（総政） ○ 追加の対策を講じた際には、特に札幌市にとっては、相当のダメージが出るのが想定されることから、収束後の対策などについても事前に検討しておく必要がある。 <p style="text-align: right;">（以上）</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和 2 年 11 月 14 日(土) 15 時 10 分～16 時 30 分
場 所	知事会議室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、知事室長、総合政策部長、保健福祉部長、経済部長、観光振興監、総務部長、教育部長、保健福祉部次長、経済部次長、政策局長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応について協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● ステージ移行後、1 週間が経過したが、新規感染者が 200 を超える日が続き、入院患者もこの 1 週間で倍増に近い形で急速に増加している。更に一段強い措置を講じることが必要な状況。（総政） ○ この感染者数が続いた場合、病床がもたなくなる時期の見通しはあるのか。 ● 医療提供体制の負荷の状況は、道央とそれ以外とでは様相が異なる。道北や十勝も厳しい状況であるが、広域搬送で対応しながら、病床を拡げる調整をしている。宿泊療養施設についても、旭川と帯広で準備が進んでいる。宿泊療養施設ができれば病床も少し余裕が出てくる。（保福） ○ 人口 10 万人当たりの感染状況だけを見ると、札幌市は相当厳しい状況。 ● 感染拡大防止の観点から、ステージの移行は全道域を原則としている。他方、マイナスのアナウンス効果もあることから、札幌市のみステージを上げて、さらに強い措置をとる案を検討している。 ● この場合の課題として、まず札幌市のみステージを上げることが適当なのか、また、今後、札幌市以外で感染が拡大した場合に同様の対応をとることも想定しなければならない。（以上、総政） ● ステージの移行は感染者数のみで判断することとしていない。特に、医療提供体制は広域で対応していることもあり、振興局や市町村単位で判断することが難しい。（保福） ● 感染者数のみで判断した場合、人口の少ない地域は、一つの集団感染の発生でステージを上げなければならなくなる状況も出てくる。（総政） ● 危機意識は全道域で共有することが必要であり、全道域でのステージ運用が必要との専門家の見解もある。（保福） ○ 札幌市はステージ 4 以上の感染状況に相当しているが、道内全体としても、ステージ 4 に上がる瀬戸際であり、非常に深刻な状況にあるという状況認識が必要。 ● 感染拡大を抑え込んでいくためには、どのような対策を取るかが重要。（副知事） ○ 札幌市の感染状況は、感染者の急増や年齢構成の変化といった不確定要素が多く、先を見通すことが難しい。札幌市の見方はどうか。

	<ul style="list-style-type: none"> ● 道と札幌市の考え方の方向性は同じ。すすきの対策を市内の他地域にどう拡げるか、行動変容のあと一押しをどうすべきか、ということが論点となる。 ● 要請内容としては、外出や移動そのものよりも、マスクを着用しない、3密の場所で長期間滞在する、大声で会話しながら飲食するといった行動が感染リスクを高めているという状況がある。そうした感染リスクを徹底して低減させ、感染リスクのある人との接触を抑えていくため、「感染リスクを回避できない場合」の「外出自粛や往来自粛」を求めている。 (以上、総政) ● 感染を完全に抑え込むためには、人との接触を抑える必要があるが、そのためには、本来であれば、社会経済活動を止めなければならない。 (保福) ● 一律の外出や往来自粛を求めるということは相当の影響が出てくる。 (経済) ● 現案では、これまでの経験を生かして、一定の社会経済活動を許容しながら、道民に危機意識を持ってもらうアナウンス効果も期待している。 (総政) ○ 「感染リスクを回避できない場合」という要請が分かりにくいのではないか。分かりやすく伝える工夫が必要。 ○ 札幌市内の社会経済活動に大きく影響することから、札幌市との認識の共有をしっかりとしておくこと。いずれにしても、現在の札幌市の厳しい感染状況を踏まえ、札幌市内における一段と強い措置を出す方向で、早急に調整を進め、併せて、GoTo イートなど GoTo 関連事業等の整合性についても整理しておくこと。 <p style="text-align: right;">(以上)</p>
--	--

※ (知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和 2 年 11 月 15 日(日) 17 時 00 分～18 時 00 分
場 所	知事会議室
出席者	知事、土屋副知事、中野副知事、教育長、知事室長、総合政策部長、保健福祉部長、経済部長、観光振興監、総務部長、教育部長、保健福祉部次長、経済部次長、政策局長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応について協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<p>〔冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 札幌市では、中心的な受入れ医療機関において、集団感染の発生やコメディカルの不足などにより、病床のひっ迫度合いが進み、相当厳しい状況という認識。このため、市も厳しい措置を講じなければならないとの考え。（保福） ● 感染状況を踏まえて、地域を限定した対策に取り組んでいくという観点から、全道域でのステージ運用を維持しながら、札幌市については、「ステージ 4 相当の措置」を行うという考え方で整理した。（総政） ● ステージを移行させなくても、ステージの考え方を踏まえて措置を行うのであれば、その根拠となる感染状況や医療提供体制をしっかりと示す必要がある。札幌市とも協議し、数値を整理すること。（副知事） ● 感染リスクを回避できない場合を分かりやすく例示するため、「場所」、「行動」、「飲食」の場面での例を整理し、特に、飲食における場面については、例えば 5 人以上であるとか 2 時間を超えるといった具体的な目安を加えることとした。（総政） ○ 5 人以上等といった数値は根拠があるのか。 ● 人数は国の分科会で例示されている。2 時間は一般的な飲食の時間を目安とした。 ● また、札幌市以外においても、飲食の場面におけるリスク回避の徹底を要請したい。（以上、総政） ○ 飲食の場面はどうしても感染リスクが高くなるので、GoTo イートについても、慎重な対応をお願いせざるを得ない。 ● 道内の GoTo イートの取扱いについては、同様の考え方を守ってもらうようにする。（経済） ○ GoTo トラベルに関しても、旅行自体は感染の主たる要因とはなっていないかもしれないが、移動の前後、特に飲食の場面で大騒ぎするなどによりリスクが高まる。旅行者に対しても、北海道の取組に協力してもらうようお願いする必要がある。 ○ 感染リスクを回避できない場合に限定したとしても、外出自粛、往来自粛は強い措置であり、人出の減少により経済への影響も大きいものとなることが想定される。国に対してもしっかりと実情を伝え、経済的な影響に対する支援を求めていく必要がある。

- 学校についても、今後の感染状況を踏まえ、時差通学や部活動の自粛も検討する必要があると考えている。最近、家庭感染が多くなっているの
で、保護者向けの通知を出すこととしたい。（教育）
- 札幌市においては時差通学なども考えられるが、施策効果との兼ね合い
や保護者の不安を煽ることにならないように注意する必要がある。（副知
事）
- できるだけ早く対策を取る観点から、早急に詳細を詰めて、札幌市長と
の認識合わせの場を設定したい。（総政）

(以上)

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和2年11月17日(火) 10時30分～11時00分
場 所	知事会議室
出席者	知事、中野副知事、教育長、保健福祉部長、観光振興監、総務部長、教育部長、保健福祉部次長、経済部次長、政策局長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、追加の対策などについて本部会議に諮ることとした。また、記者会見で発表することとした。
発言者 及び主な 発言内容	<p>〔冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 昨日、専門家等の皆様にご意見を伺い、道案については、概ね妥当であると評価いただいている。また、市町村、関係団体からは、経済的ダメージの軽減等に配慮を求める意見、観光客の移動制限につながるものがないよう配慮を求める意見などが寄せられた。こうした意見を踏まえ、本日、本部会議で決定することとしたい。（総政） ○ 対策の必要性について、道民や事業者の皆さんに、より分かりやすく伝え、理解をいただくことが必要。 <p style="text-align: right;">(以上)</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和 2 年 11 月 22 日(日) 11 時 00 分～12 時 00 分
場 所	知事会議室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、公営企業管理者、教育長 総合政策部長、保健福祉部長、経済部長、観光振興監、総務部長、 教育部長、保健福祉部次長、経済部次長、経済部次長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応について協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<p>〔冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 昨日の政府対策本部において、GoTo トラベル事業について、感染拡大地域を目的地とする旅行の新規予約の一時停止措置、時短営業への支援金として地方創生臨時交付金の 500 億円の追加措置が打ち出された。（経済） ● 国の分科会では、GoTo トラベル事業について、Go To トラベル事業が感染拡大の主要な要因であるとのエビデンスは現在のところ存在しないが、都道府県が国のステージⅢ相当と判断した場合には、当該都道府県を除外することも検討するとされ、尾身会長は、分科会後の会見で「北海道の札幌市がステージⅢに入っているのではないかと述べており、札幌市が感染拡大地域として名指しされている状況。（総政） ○ 旅行自体に感染のエビデンスはないかもしれないが、札幌市は、全国から医療従事者や保健師の応援を受け、入院調整や疫学調査をしている状況にあることも考慮しなければならない。 ○ GoTo トラベル事業の取扱いについて、国の考え方を確認しつつ、北海道の地理的な特殊性などを踏まえた道の考え方について整理した上で国に要請することとしたい。 ● 11 月 17 日に札幌市を対象にステージ 4 相当の対策を決定した以降も、各指標は悪化しており、集中対策期間の終了後の対応については、そうした感染状況を踏まえて検討が必要となる。（総政） ● 現下の厳しい状況が続くと、27 日の期間終了後も札幌市内における対応が必要となる。札幌市とは協議を続けていく。（経済） ● 時短措置の効果は出ているか。（副知事） ● すすきの駅周辺の人出は大幅に減少している。札幌市の体制強化や保健師の応援などによる疫学調査も進んでおり、時短措置に加え、そうした対策により、時短要請施設の集団感染の発生数やリンクなし割合の減少といった効果も現れてきている。（総政） ○ 厳しい状況は続いているが、今後も協力していただくためには、これまで道民、事業者の皆さんが取り組んできたことは効果として現れているということも理解いただくことが必要。 ● テレワークの徹底についても強力に推進していくことが必要。個人の行動変容に加え、経済 4 団体とも連携していきたい。（経済） ○ 関係者が細心の注意を払っていながらも、病院や福祉施設に感染が広がっている。高齢者や基礎疾患を持つ方々や接する機会が多い方々には一層効果的な呼びかけも必要。

● 11月に入り、病院や福祉施設等での集団感染が多くなっている。行動変容に関しては打つ手は限られているが、高齢者と接する方、同居している方々に、そうした目線を持っていただくような呼びかけを検討したい。
(総政)

(以上)

※(知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和 2 年 11 月 23 日(月・祝) 14 時 00 分～14 時 45 分
場 所	知事会議室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、教育長、知事室長 総合政策部長、保健福祉部長、経済部長、観光振興監、総務部長、 教育部長、保健福祉部次長、政策局長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応について協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<p>〔冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● GoTo トラベル事業の一時停止について、国から、知事としての意見が求められている。(観光) ○ 国の事業であり、最終的な判断、決定は国がすべきではあるが、意見を聞かれるということであれば、札幌市とも十分な協議の上、対応しなければならない。また、国は、利用者や事業者の不安を払拭し、混乱が起きないように、万全の対策を講じていただく必要がある。 ● 意見提出に当たって、利用者のキャンセルや事業者に対するキャンセル料の補償など、国の責任において万全の支援がなされるよう強く要望していく。(観光) ● これまで取り組んできた成果を整理すると、11月に入って倍増してきた新規感染者数の増加ペースは鈍化していること、すすきの地区の人出が大きく減少していることが確認できるが、他方、依然として連日 200 人を超える感染者が確認され、医療機関での集団感染も発生しており、非常に厳しい状況。(総政) ○ 27日以降の対策については、GoTo トラベル事業の見直しの状況も踏まえ、検討していく必要がある。 ● 酒類提供を飲食店や料理店での発生数は一定程度抑えられているが、接待を伴う飲食店における感染事例の発生が 11 月以降も継続している。こうした状況を踏まえ、時短措置の扱いについて札幌市と協議していく。(経済) <p style="text-align: right;">(以上)</p>

※(知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和2年11月24日(火) 16時00分～16時15分
場 所	知事会議室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、公営企業管理者、教育長 総合政策部長、保健福祉部長、経済部長、観光振興監、総務部長、 教育部長、保健福祉部次長、経済部次長、政策局長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、札幌市のステージの考え方 などについて本部会議に諮ることとした。
発言者 及び主な 発言内容	<p>〔冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 専門家等に意見を伺い、札幌市の状況が国のステージⅢ相当にあるとの判断に対して賛同をいただいたことから、原案のとおり対策本部で決定することとしたい。(総政) ○ 道民及び事業者に対しては、混乱を招くことのないよう、万全の対応を行ってほしい。 ○ GoTo イートやイベントの扱いについても検討が必要である。 ○ 国が GoTo トラベル事業を再開する際の取扱いが不透明なままである。引き続き国に対して明確にしてもらうよう求めていくこと。 ● 再開を求めるに当たっては、いくつかの数値が改善され、下降トレンドに入るなど、まずは感染を抑え込むことが必要であり、今後、状況をモニタリングしていく。(総政) <p style="text-align: right;">(以上)</p>

※(知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和 2 年 11 月 25 日(水) 9 時 30 分～9 時 50 分
場 所	知事会議室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、知事室長、総合政策部長、保健福祉部長、経済部長、観光振興監、総務部長、保健福祉部次長、経済部次長、政策局長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応について協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 札幌市と協議した結果、11月28日以降の対策については、接待を伴う飲食店について、すすきの地区から市内全域に対象範囲を拡大し、これまでの時短から休業の要請を行うこととしたい。 ● また、より強い行動変容を促すため、北海道スタイルを実践しない店の利用自粛を要請する。 ● 集団感染があって非常に厳しい状況が続いているが、急速な拡大傾向は少し落ち着いてきた。2週間強い対策を取ることによって、医療提供体制の負荷のかかり方も緩和させたい。 ● 時短等の要請に加えて、特に重症化リスクの高い方に対して、マスクの着用など感染リスクの回避する行動の徹底をお願いしては如何かと考えている。(以上、総政) ○ 国の分科会は3週間程度の対策が必要としているが、道の対策期間の考え方は。 ● これまで3週間にわたり、ご協力をいただいていた事業者への負担を考慮しつつ、現下の厳しい感染状況を早期に食い止めるために、集中対策期間を2週間延長し、追加対策を行うこととしたい。(総政) ○ 感染状況を慎重に見極めながら、札幌市における次の対策をすぐに打てるよう準備を進めておくこと。 ○ 旭川市の医療の負荷の状況が増していることも懸念。 ● 旭川市は、集団感染で感染者が急増している。旭川市と連携して、集団感染対策はもとより病床の確保、宿泊療養施設の確保も進めている。(保福) <p style="text-align: right;">(以上)</p>

※ (知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和 2 年 11 月 26 日(木) 12 時 45 分～13 時 15 分
場 所	知事会議室
出 席 者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、知事室長、総合政策部長、保健福祉部長、経済部長、観光振興監、総務部長、保健福祉部次長、経済部次長、政策局長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、追加の対策などについて本部会議に諮ることとした。
発 言 者 及び主な 発言内容	<p>〔冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 昨日、専門家等の皆さんにご意見を伺い、道案については概ね妥当であるとの評価をいただいた。その際、医療体制がひっ迫しており、医療継続のために対策が必要であることを強調してほしい、すすきの地区の対策など結果が伴ってきているので継続してほしい、重症化リスクの高い方への感染リスク回避の行動徹底の呼びかけは重要であるといった意見が寄せられた。また、市町村、関係団体からは、今回の追加対策により、全道域で経済が冷え込むことのないよう継続的な支援が必要といった意見があった。これらの意見を踏まえ、本日、本部会議で決定することとしたい。 (総政) ○ 道民、事業者の皆さんに、ステージ 2 への移行以来、1 か月半の長きにわたり、大変なご苦勞をお掛けしている。一日も早く、感染拡大をくい止めていくため、徹底した対策を講じてほしい。 ○ 札幌市内における GoTo イートや GoTo イベントなどの運用については、今日の対策に合わせて見直しを進めてほしい。 <p style="text-align: right;">(以上)</p>

※ (知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和 2 年 12 月 6 日(日) 15 時 00 分～16 時 00 分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、教育長、知事室長、総合政策部長、保健福祉部長、経済部長、観光振興監、総務部長、保健福祉部次長、政策局長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応について協議した。
発言者及び主な発言内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 札幌市は、11 月 17 日以降も、高齢者の感染者増や病院等での集団感染の増加による医療機関への負荷が続き、会社・学校・家庭等と感染経路も多様となっている。 ● 一方で、すすきの地区については、人流は 10 月 28 日から 4 割以上減少し、感染者も 11 月 18 日をピークに減少に転じている。(以上、総政) ● 今後の感染動向を見ていく必要があるが、札幌市としては、すすきの地区を対象とした時短等の措置を終了させた場合には、新たに、手引書の制作などによる事業者による自主的な取組強化や定期的な PCR 検査などを柱に対策を進め、感染の再増加を抑えていきたいとの考え。引き続き感染状況を踏まえ協議を続ける。(経済) ● 時短等の措置を解除した場合でも、対策が緩くならないように、年末年始のイベントや帰省を想定し、飲食の場面のリスクを避ける行動変容の徹底を要請することが必要。(総政) ○ 感染者数がピークを過ぎて減少傾向に入っても、入院は長期にわたることから、病床数や重症化率は遅れてピークが来るとともに、医療提供体制の負荷はすぐには減らない。こうした認識について関係者間で共有しなければならない。 ○ 特に、年末年始に向けても厳しいという認識を共有すべき。すすきの対策の協力に対する感謝は必要だが、気の緩みは避けなければならない。 ● 国では、札幌の医療提供体制への厳しい見方がなされている。全国から応援をもらっている中で、行動変容を促す強い呼びかけなどにより、措置を緩めるわけではないことを説明する必要がある。(総政) ○ 目の前の感染者数は減少しているが、医療提供体制の負荷は大変厳しく、特に札幌と旭川は大変な状況にある。医療従事者に寄り添い、今年は普通の年末年始ではないことから、道民の皆さんに行動変容への協力をお願いすることが必要。 ○ GoTo トラベル事業について、12 月 15 日の一時停止期間の終了時を見据え、解除の方法や知事の裁量などについて、予め国に確認しておくこと。 <p style="text-align: right;">(以上)</p>

※ (知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和 2 年 12 月 8 日(火) 17 時 45 分～18 時 30 分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、知事室長、保健福祉部長、経済部長、観光振興監、経済部次長、政策局次長ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応について協議した。
発言者及び主な発言内容	<p>〔冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 今後の対策について、直近の感染状況や医療提供体制の負荷の状況等を踏まえ、札幌市と協議を行った結果、札幌市内の時短等の措置は継続することとしたい。また、忘年会シーズンとなることから、新たな措置として、自宅を含む 5 人以上、2 時間を超える飲食自粛を追加するとともに、全国的な感染状況を踏まえ、感染拡大地域との往来自粛についても要請することとしたい。（総政） ● 旭川市の感染状況は本日 50 人となり、これまでの最多を更新した。また、自衛隊に対して応援を要請。一般診療にも影響が出てきており、これまでの集団感染への対応から一步踏み込むことが必要。（保福） ○ 旭川市の医療ひっ迫度合いは厳しく、医療機関にこれ以上の負荷を掛けないよう、強い行動変容をお願いせざるを得ないのではないかと。 ● 医療のひっ迫度合いを考慮すると、更なる医療提供体制の負荷の発生を軽減させる必要があり、予防措置的にでも強い措置が必要ではないかと。（副知事） ○ 集中対策期間が 12 月 25 日までとなると、年末年始の注意喚起につながらない。 ● 年末年始を含めて大きく網を掛けて、時短等の強い措置を早く要請することも含めて、どのような方法が適切か検討の上、有識者等の意見を伺ってまいりたい。 ● 旭川市に関する対策については市との協議が整い次第、別途意見照会することとし、それ以外の道案について専門家等への意見照会など必要な手続きを進めることとする。（以上、総政） <p style="text-align: right;">（以上）</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和 2 年 12 月 10 日(木) 11 時 00 分～11 時 30 分
場 所	知事応接室
出 席 者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、知事室長、 総合政策部長、保健福祉部長、経済部長、観光振興監、保健福祉部次長、 経済部次長、経済部次長、政策局長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、追加の対策などについて本部会議に諮ることとした。
発 言 者 及び主な 発言内容	<p>〔冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 専門家等の皆様からは、概ね妥当であるとの意見をいただいている。また、旭川市と協議し、感染リスクを回避できない場合、旭川市内における不要不急の外出を控える旨の要請を実施していくことについて確認できたので、昨日追加で専門家等の皆様にご意見を伺った。旭川市に強い措置を講じることについても妥当との意見をいただいている。 ● 有識者からは、対策は妥当とした上で、対策期間が長いので気持ちが持続できないとの意見や若者に届くメッセージをお願いしたいとの意見があり、伝え方や説明の仕方に工夫をしていく。 ● 本日、原案どおり本部会議で協議し、決定することとしたい。（以上、総政） ○ 入院患者や重症者のピークは新規感染者よりも遅れて顕在化するとともに、退院まで一定期間を要することから、医療提供体制には未だ大きな負荷が生じている状況である。年末年始は、多くの医療機関が休診となる時期でもあり、忘年会など人が集まる機会が増えて感染リスクが高くなることから、この時期に医療への負担を減らすことが何としても必要。大事な局面であることを強調したい。 <p style="text-align: right;">(以上)</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和 2 年 12 月 21 日(月) 10 時 00 分～10 時 45 分
場 所	知事応接室
出席者	知事、浦本副知事、土屋副知事、中野副知事、知事室長、保健福祉部長、経済部長、総務部長、保健福祉部次長、経済部次長、政策局長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応について協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<p style="text-align: center;">〔冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 12 月 26 日以降の時短要請等の取扱いについて、札幌市と協議している。感染状況や医療提供体制を踏まえると、全面的な解除は困難であるとの認識は共有している。(経済) ● 旭川市とも不要不急の外出自粛の延長について協議している。(総政) ○ 仮に、時短要請を緩和することになった場合、対策の効果として大丈夫か。 ● これまで長期間にわたり事業者の皆さんに協力をいただいていた繁華街対策が無駄にならないよう、札幌市と協議している。(経済) ○ 現状では、全道の新規感染者が減少傾向にあるものの、引き続き、医療提供体制への厳しいひっ迫度合いが続いており、特に、通常の医療提供が難しくなる年末年始における医療崩壊を防ぐことが重要。 ● 年末年始の期間に限定した特別な措置について、どのような形で要請するのが適当か検討している。(総政) ● その際、帰省を念頭に置いて他府県との往来についての考え方を整理することが必要。(副知事) ○ 年末年始は接触の機会が増えるので、何らかのメッセージを出す必要はあるが、その出し方に工夫が必要。静かに年末年始を過ごしてもらうに当たり、道民、事業者の皆さんに分かりやすい具体的な呼びかけを行うことが大切。 ● 具体的な要請内容は改めて検討するが、これまでの議論を踏まえ、例えば、ゴールデンウィークの時のような、道と札幌市、市長会、町村会の 4 者共同メッセージも選択肢としてはある。(総政) <p style="text-align: right;">(以上)</p>

※ (知事○、その他●)

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和 2 年 12 月 22 日(火) 14 時 50 分～15 時 15 分
場 所	知事応接室
出席者	知事、土屋副知事、中野副知事、知事室長、総務部長、保健福祉部次長、経済部次長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応について協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<p>〔冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 昨日の尾身会長の記者会見において、北海道は感染が減少に転じた地域との言及があった。尾身会長は、東京都は人流の低下は見られていないが、北海道と大阪府は時短要請により人流の減少が見られ、新規感染者数が減少していると評価している。（総政） ● 現在の分科会の議論は、飲食が急所であり、ここを抑える必要があるというもの。感染者数が減少するまでは時短などの措置を継続することが求められている。（副知事） ● 札幌市とこれまで協議してきた中では、足下の新規感染者数は減少傾向にあることを踏まえて、すすきの地区における時短要請を解除することとするが、接待を伴う飲食店については引き続き一定の感染者が確認されていることから継続していかざるを得ないという認識で一致している。（総政） ● 時短要請を解除することにより感染が拡大しないよう、すすきの地区を挙げて感染防止の取組を徹底していくことを呼びかけていきたい。（経済） ○ 飲食での感染リスクは高いが、時短要請をいつまで行うか、その効果も踏まえながら、判断のタイミングを見極めていくことが必要。 ● 年末年始に向けては、全国的に「静かな年末年始」とする取組を進めている。道としても、札幌市、市長会、町村会との連名によるメッセージという形で発出する方向で内容について調整を進めたい。（総政） <p style="text-align: right;">(以上)</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和 2 年 12 月 23 日(水) 10 時 15 分～10 時 45 分
場 所	知事応接室
出席者	知事、土屋副知事、中野副知事、知事室長、保健福祉部長、経済部長、総務部長、保健福祉部次長、経済部次長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応について協議した。
発言者 及び主な 発言内容	<p>〔冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 今後の対策について、全道への外出自粛要請などといった報道が出ており、道民の混乱を招きかねないと懸念。 ● 報道は事実と異なっており、混乱が拡がらないよう対策を本日中には取りまとめ、専門家等に意見照会を行いたい。 ● 年末年始に向けた共同メッセージとして、「普段一緒にいる方」と「自宅」で過ごす、「普段一緒にいない方」との「会食は控える」ことを強く打ち出すこととしたい。（以上、総政） ○ やむを得ない事情で帰省する方々への偏見・差別を招かないよう表現には注意が必要。 ● 道民の皆さんが自分事として捉えられるような表現がよいのではないか。（副知事） ○ 今後、急激に人出が戻るようであれば、感染が再拡大する可能性が高くなる。引き続き危機感を持って、札幌市とも密接に連携しながら対応すること。 <p style="text-align: right;">(以上)</p>

※（知事○、その他●）

コロナ対策打ち合わせ 記録

日 時	令和 2 年 12 月 24 日(木) 10 時 15 分～11 時 00 分
場 所	知事応接室
出席者	知事、中野副知事、総合政策部長、保健福祉部長、経済部長、総務部長、保健福祉部次長、経済部次長、政策局次長 ほか
内 容	感染状況などを踏まえ、今後の対応を協議し、追加の対策などについて本部会議に諮ることとした。
発言者 及び主な 発言内容	<p>〔冒頭、保健福祉部より感染者の発生状況等について報告し、感染状況について意見交換〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 26 日より行う対策の内容については、専門家等からは概ね妥当であるとの意見をもらっているが、医療の立場からはこれまでの措置の継続が望ましい旨の意見があった。引き続き感染状況を注視していく必要はあるが、この案により本部会議に臨むこととしたい。(総政) ● 国とも情報交換を行っているが、国のアドバイザリーボードでも、北海道は早いうちから時短要請など行っており、感染者数の減少傾向が見られるとされ、今回の対策にも一定の理解を得ている。一方で、対策が緩むことのないよう感染状況のモニタリング及び PCR 検査をしっかりとやっていくべきとの指摘。(副知事) ● すすきの地区の PCR 検査は継続していく。臨時 PCR 検査センターと店舗型出張検査について、年末年始も積極的に実施することを改めて PR する。(保福) ● すすきの地区では、事業者や観光協会が「すすきの感染対策徹底宣言」を出して、自主的にも取り組んでいくこととなった。道としても、巡回パトロールを継続して行っていく。(経済) ○ 年末年始の帰省により、今回は特に人の移動や飲食の機会が増えるので、医療資源の乏しい地域において感染拡大が起きないように、地域の実情に合わせて、地方本部となる振興局と市町村が認識を共有しながら、連携して対策を進めてほしい。 <p style="text-align: right;">(以上)</p>

※ (知事○、その他●)